TOKYO NATIONAL MUSEUM NEWS

東京国立博物館ニュース

2015 8-9

展示と催し物案内
第732号

2-3「クレオパトラとエジプトの王妃展」
3「アート オブ ブルガリ 130年にわたるイタリアの美の至宝」／特別展「始皇帝と大兵馬俑」
4-5「博物館でアジアの旅」／6-11 総合文化展
12-13 みどりのライオン 教育普及事業／13 保存と修理情報30
14-15 イベント&インフォメーション／16 2015年8月・9月の展示・催し物

今年もやります！

秋の新定番「博物館でアジアの旅」

TNM

クレオパトラとエジプトの王妃展

平成館 特別展示室 | 7月11日(土) — 9月23日(水・祝)

夏休み
特別時間延長
7月22日(水)～8月27日(木)の火・水・木曜日と8月10日(月)は18：00まで開館！！

4人の王妃がトーハクにやってきた!

古代エジプトの粋を集めた本展覧会。
テーマは古代エジプトの王妃や女王です。
展示では様々な王妃・女王が登場します。
そこで今号では、特に注目の、いわば本展覧会のヒロインともいうべき4人の王妃たちについてご紹介します。

古代エジプトのハンサムウーマン

ハトシェプスト

HATSHEPSUT

ハトシェプストはトトメス２世の王妃でした。夫の死後、あとを継いだ幼いトトメス３世を助け、後に共同統治者となって古代エジプトに君臨します。ハトシェプスト女王の誕生です。戦いを好まず、各地と平和な交流をすすめ、交易を行うことで国の繁栄を築きました。男性の王が身につけた頭巾と付け髭をつけて正装したその姿から「男装の女王」とも呼ばれています。

ハトシェプスト女王葬祭殿のレリーフ
新王国・第 18 王朝時代
ハトシェプスト女王治世（前 1473 ～前 1458 年頃）
イギリス　アル・タニコレクション
© Alexander Braun
王権の象徴である聖蛇ウラエウスには、往時の鮮やかな彩色がいまも残されています

古代エジプトを代表する美貌の王妃

ネフェルトイティ（ネフェルティティ）

NEFERTITI

ネフェルトイティはアメンヘテプ４世（後のアクエンアテン王）の王妃です。国を守る神を太陽神アテンのみとする宗教改革を夫とともに進めました。王都がテーベからアマルナに遷されると、新しい都では伝統的な表現と異なる自由で生き生きとした表現が花開きます。「美しき婦人がきた」という意味をもつ名前の通り、王妃は古代エジプトを代表する美女といわれています。

王妃ネフェルトイティのレリーフ
新王国・第 18 王朝時代
アクエンアテン王治世（前 1351 ～前 1334 年頃）
イギリス　アル・タニコレクション
© Alexander Braun
王妃ネフェルトイティに降り注ぐのは唯一神アテンの光線です

英雄たちを虜にした才女

クレオパトラ

CLEOPATRA

クレオパトラ（7 世）は、約 3000 年間も続いた古代エジプト最後の女王です。衰えゆく国を守るため、ローマの英雄たちとよしみを結びます。知的で才気あふれる彼女の魅力に、カエサルらローマの将軍たちは心奪われました。その彼女も、後にローマ帝国初代皇帝となったオクタウィアヌスに敗れ、悲劇的な最後を遂げます。彼女の死によって栄華を誇った古代エジプトの歴史に幕がおりたのです。

オクタウィアヌスにカエサルの胸像を示すクレオパトラ
ポンペオ・ジローラモ・バトーニ筆
1755 年か
フランス　ディジョン美術館蔵
© Musée des Beaux-Arts de Dijon. Photo Hugo Martens
死後、プルタルコスの物語をもとによみがえった、威厳に満ちた女王の姿です

クレオパトラ
プトレマイオス朝時代
クレオパトラ７世治世（前 51 ～前 30 年）
ヴァチカン市国　ヴァチカン美術館蔵
Photo © Vatican Museums. All rights reserved
クレオパトラは古代エジプトの女王でもあり、ギリシア人としての一面ももっています

| 開催概要 | 主催：東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社／後援：外務省／協賛：大日本印刷、トヨタ自動車／協力：日本航空、KLMオランダ航空／制作協力：The Grimaldi Forum Monaco、ファクト・コンセプトゥール社／観覧料：一般 1,600円（1,300円）、大学生 1,200円（900円）、高校生 900円（600円）　＊（ ）内は20名以上の団体料金　＊中学生以下無料　＊障がい者とその介護者1名は無料（入館の際に障がい者手帳などをご提示ください）／お問合せ：ハローダイヤル　03-5777-8600／展覧会公式サイト：http://egypt2015. jp

※◉は国宝、◎は重要文化財、○は重要美術品を表します。特に表記のないものは東京国立博物館所蔵です。

THE ART of BVLGARI

130 YEARS OF ITALIAN MASTERPIECES

アート オブ ブルガリ　130年にわたるイタリアの美の至宝

表慶館　｜　9月8日(火)～11月29日(日)

ソートワール（部分）　プラチナ、サファイア、ダイヤモンド　1969年

130年を越える歴史を持つ、イタリアが世界に誇るハイジュエリーブランド、ブルガリ。
今回の回顧展では、ローマの地に1884年に創業したブルガリの、創成期から今日に至るまでの貴重な作品約250ピースをご堪能いただけます。

｜開催概要｜主催：東京国立博物館、ブルガリ、読売新聞社／後援：イタリア大統領府、イタリア首相府、イタリア文化財・文化活動・観光省、イタリア大使館、ローマ市／観覧料金：一般1,400円（1,200円／1,100円）、大学生・高校生800円（600円／500円）　＊（ ）内は前売／20名以上の団体料金。中学生以下無料　＊障がい者とその介護者1名は無料／お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600

将軍俑　秦時代・前3世紀
秦始皇帝陵博物院蔵
©Shaanxi Provincial Cultural Relics Bureau & Shaanxi Cultural Heritage Promotion Center

特別展 始皇帝と大兵馬俑

THE GREAT TERRACOTTA ARMY OF CHINA'S FIRST EMPEROR

平成館 特別展示室

10月27日(火)～2016年2月21日(日)

今から約2200年前の中国で「最初の皇帝」となった秦の始皇帝。その巨大な陵墓のほど近くに埋められた、約8千体もの兵士や馬などからなる「兵馬俑」は、20世紀の考古学で最大の発見と謳われています。本展では、「将軍俑」「騎兵俑」などバリエーション豊かな兵馬俑をはじめ、始皇帝と秦王朝にまつわる貴重な文物を一挙に紹介します。
（川村佳男）

記念講演会「始皇帝が夢見た『永遠』―兵馬俑と発掘品から読み解く―」

日時：10月31日(土)　13:30～15:00(開場13:00予定)
講師：川村佳男（平常展調整室主任研究員）
会場：平成館大講堂
定員：380名（事前申込制、応募者多数の場合は抽選）聴講無料（ただし本展覧会の観覧券が必要。半券でも可）
申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記までお申し込みください。
1枚のはがきで最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。
申込先：〒359-0014 埼玉県所沢市亀ヶ谷405-1 KKCビル 特別展「始皇帝と大兵馬俑」記念講演会係
申込締切：9月14日（月）必着

｜開催概要｜主催：東京国立博物館、陝西省文物局、陝西省文物交流中心、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社／後援：中国大使館／観覧料金：一般1,600円（1,400円／1,300円）、大学生1,200円（1,000円／900円）、高校生900円（700円／600円）　＊（ ）内は前売／20名以上の団体料金。中学生以下無料＊障がい者とその介護者1名は無料／お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600
展覧会公式サイト：http://heibayou.jp/

妻として、母として。王を支えた寵妃

ティイ

ティイは古代エジプト絶頂期の王であるアメンヘテプ3世の愛妃です。彼女もまた夫の想いに応えて献身的に王を支え、その評判は他国にも聞こえるほどでした。夫の死後、息子アメンヘテプ4世（後のアクエンアテン王）を見守り、来たるアマルナ時代への橋渡しをします。王の妻、王の母としても活躍した彼女は、まさに古代エジプトの理想の女性といえます。

TIYI

アメンヘテプ3世の王妃ティイのレリーフ
新王国・第18王朝時代　アメンヘテプ3世治世（前1388～前1350年頃）
ベルギー　ブリュッセル、王立美術歴史博物館蔵
©Royal Museums of Art and History, Brussels
額飾と冠飾は王権と神との密な関係を表わします。王妃が好んで身につけました

アメンヘテプ3世の記念スカラベ（王妃ティイとの結婚）
新王国・第18王朝時代
アメンヘテプ3世治世（前1388～前1350年頃）
オーストリア　ウィーン美術史美術館蔵
Kunsthistorisches Museum Vienna
王と王妃の名が刻まれた「婚姻スカラベ」は、不朽の愛の象徴です

7月27日(月)はキッズデー Kid's Day

キッズのための、1日限定の特別な鑑賞日です。ベビーカーでの観覧はもちろんのこと、託児サービス（事前予約制、有料）や授乳室、おむつ替え環境も整っているので、小さなお子さま連れでも安心です。

日時：7月27日（月）10:00～15:00（入館は14:30まで）　当日受付
対象：中学生以下、および同伴の保護者・付添者（小・中学生だけでの参加も可）
参加費：中学生以下無料、同伴の保護者・付添者は本展覧会の観覧券が必要、半券不可
＊当日は、総合文化展はご覧いただけません。また、常設ミュージアムショップ、レストランもご利用いただけません。

● ギャラリートーク「古代エジプトのなぞ ミニ探検」
研究員が、お子さま向けに作品解説をします。
①11:00～　②11:30～　③13:30～　④14:00～　※各回約15分

● ワークシート「クレオパトラ新聞」
夏休みの自由研究にも役立てていただけるワークシートです。

● ぬりえコーナー
4人の王妃のイラストのぬりえをご用意しています。

● フォトスポット
展覧会にお越しいただいた記念に、夏休みの思い出の1枚が撮影できます。

● 託児サービス
事前予約制、有料の託児サービスを実施します。余裕があれば当日申込可。
時間：11:30～14:30
料金：0歳児～1歳児＝2,000円、2歳児以上＝1,000円
ご予約・お問合せ：イベント託児・マザーズ
0120-788-222（平日10:00～17:00　※12:00～13:00を除く）

今年もやります！

博物館でアジアの旅

9月29日（火）～10月12日（月・祝）

昨年ご好評いただいた「博物館でアジアの旅」を、今年も開催します。旅のプランはあなた次第。この秋、トーハクでアジアを満喫しませんか？

発見！つながるアジア
―文化交流の視点で楽しむ東洋館

ユリノキちゃん

東洋館では、3つの特集を中心に、文化交流をテーマにした展示を行います。各展示室では、「形・文様」「技」「文字」「人」をキーワードに、アジア各国・各地域間の文化の受容と交流をパネルで解説します。今号ではひと足はやく、注目の作品をご紹介！

3つの特集に注目！

東洋館1室
如来坐像（形・文様）

展示期間：通年
中国　五胡十六国時代・4世紀

インドから中国へ仏教が伝わって間もない頃、中国ではインドの真似をして仏像が作られました。この像は、顔つきや髪型、厚い衣がまるでガンダーラ仏のようです。

東洋館3室
衆人奏楽図（形・文様）

展示期間：9月29日（火）～11月23日（月・祝）
高昌ウイグル期・10～11世紀
中国・ベゼクリク石窟第33窟
大谷探検隊将来品

西域の人々が縦笛・横笛・四弦琵琶・太鼓・シンバルなどの楽器を演奏する場面です。日本の楽器の中には、西アジアに起源をもち、西域を経由して伝わってきたものも少なくありません。

東洋館8室
特集「中国書画精華―日本における受容と発展―」

9月8日（火）～11月29日（日）

わが国に伝来した中国の書画は、日本の美術に大きな影響を与えてきました。唐絵の中でも最上と評された梁楷の三幅には、足利義満の印が押されています。中国の名品の尽きせぬ魅力を、さまざまなエピソードとともにお楽しみください。

展示期間：~~9月8日（火）～10月25日（日）~~ 10月27日（火）～11月29日（日）

（左）◉**雪景山水図**　梁楷筆　中国　南宋時代・13世紀
（中）◉**出山釈迦図**　梁楷筆　中国　南宋時代・13世紀
（右）雪景山水図模本　狩野養信模写　江戸時代・19世紀
原本＝伝梁楷筆　中国　南宋時代～元時代・13～14世紀

東洋館5室
特集「東洋の白磁―白をもとめ、白を生かす」

8月18日（火）～12月23日（水・祝）

中国に生まれた白いやきもの、「白磁」。およそ6世紀から14世紀までの展開をたどります。また、東アジアにおけるさかんな交易や陶工たちの直接的な交流をとおして、白いやきものはベトナム、朝鮮、日本へとひろがってゆきます。それぞれの土地で個性豊かに花開いた「白磁」をお楽しみください。

（形・文様）
◎**白磁鳳首瓶**

中国　唐時代・7世紀
横河民輔氏寄贈

西アジアの金属器を写した形。当初なめらかな透明釉がかかっていたと考えられます

マークは、「博物館でアジアの旅」関連作品です。展示室でこのマークを探してみてください。

関連イベント

＊全て参加無料です。（ただし当日の入館料が必要）

セブンワンダーツアー ―添乗員はトーハク研究員― 当日受付

7 人の研究員が「交流」をキーワードに、60 分のアジア旅行へご案内します。いくつかの展示室をめぐるツアー形式のギャラリートークです。

■**9月30日（水）11:00～12:00**
「インドから東南アジアへ、仏像の旅」淺湫毅（東洋彫刻）
■**10月2日（金）11:00～12:00**
「東洋の白磁―白いうつわをもとめて」三笠景子（東洋陶磁史）
■**10月3日（土）11:00～12:00**
「文字でたどる朝鮮の歴史」白井克也（東アジア考古学）
■**10月6日（火）14:00～15:00**
「トーハクでシルクロード探検」勝木言一郎（東洋美術史、東西文化交流史）
■**10月7日（水）11:00～12:00**
「茶人の執着ここにあり！名物裂の世界」小山弓弦葉（日本東洋染織史）
■**10月9日（金）11:00～12:00**
「筆墨の伝える世界 ―東アジアのパスポート」富田淳（東洋書跡）
■**10月12日（月・祝）11:00～12:00**
「古代アジア青銅器の旅　なぜ人々は青銅に熱中したのか」谷豊信（東洋考古）
＊当日自由参加。東洋館 1 階　エントランスホール集合。
＊展示室を巡るツアーです。歩きやすい靴でご参加ください。

YOGA　仏像と過ごす夕べ 事前申込制

昨年、大好評だった展示室でのYOGAイベントを今年も開催。
■**10月1日（木）・8日（木）　19:30～20:30（受付19:00～）**
会場：東洋館 1 階
定員：各回 20 名（応募者多数の場合は抽選）
申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申し込みください。
申込締切：8 月 24 日（月）必着
＊抽選の結果は 9 月 1 日（火）までにメールでお知らせします。
＊当日は展示をご覧いただくことはできません。後日お使いいただける総合文化展の無料観覧券をお渡しします。

サムルノリ（太鼓演奏）韓国の伝統芸能 当日受付

■**10月4日（日）14:00～、15:30～（各30分程度）**
出演：打縁琴（タヨングム）
会場：東洋館前（雨天の場合は平成館大講堂）
＊雨天時は 380 名（先着順）

キルギスの伝統楽器コムズの調べ 当日受付

■**10月6日（火）13:00～、15:30～（各30分程度）**
出演：ウメトバエワ・カリマンほか　会場：東洋館 1 室

中国の伝統楽器古箏の調べ 当日受付

■**10月9日（金）13:00～、15:30～（各30分程度）**
出演：伍芳（ウー・ファン）　会場：東洋館 8 室

カヤグム（伽倻琴演奏と併唱）韓国の伝統音楽 当日受付

■**10月11日（日）14:00～、15:30～（各30分程度）**
出演：李明姫（イ・ミョンヒ）／伴奏　李昌燮（イ・チャンソプ）
会場：平成館大講堂　定員：380 名（先着順）

アジアンぬりえ 当日受付

東洋館の展示作品をモチーフにしたぬりえをお楽しみください。作品はお持ち帰りできます。子ども向け、大人向けともにご用意しています。
■ **10 月 3 日（土）・4 日（日）・10 日（土）・11 日（日）　11:00 ～ 16:00**
会場：東洋館 1 階　エントランスホール　＊随時自由参加、ぬりえがなくなり次第終了

着てみてポーズ! 中国・韓国・日本の伝統衣装 当日受付

中国・韓国・日本の伝統衣装を着て記念撮影。それぞれの国の美意識や生活文化の違いを体感できます。子ども用、大人用ともにご用意しています。
■**期間中毎日　11:00 ～ 16:00**
会場：東洋館 1 階　エントランスホール　＊随時自由参加

ボランティアによる東洋館関連ガイドツアー 当日受付

東洋館のハイライト、彫刻、たてもののガイドなどを、「博物館でアジアの旅」のための特別バージョンで実施します。詳細は次号カレンダーをご覧ください。

アジアン屋台

アジア料理を中心にしたケータリングカーが東洋館前に登場！

★10月2日（金）・3日（土）は特別夜間開館で22:00まで

★博物館で野外シネマ★★

日時：10 月 2 日（金）・3 日（土）
19：00 ～
会場：本館前（雨天の場合は平成館大講堂）
＊雨天時は 380 名（先着順）

次のページでも「博物館でアジアの旅」の関連作品をチェックだほ

トーハクくん

東洋館 4 室

「関内侯印」金銅印 文字

展示期間：8 月 25 日（火）～ 2016 年4月 24日（日）
中国　東晋時代・4 ～ 5 世紀

動物形のつまみをもつ金色の四角い印璽は、日本の国宝「漢委奴國王」金印を彷彿とさせます。爵位を刻んだ金・銀・青銅鍍金（金銅）の印は、中国の皇帝から下賜される高い身分の証でした。

東洋館 9 室

如意形時計 形・文様

展示期間：～ 12 月 23 日（水・祝）
中国　清時代・19 世紀
広田松繁氏寄贈

西洋の文物とその技術が積極的にもたらされるようになった清時代。皇帝はなかでも機械式時計を愛しました。銅製の如意に付けられた時計はイギリスでつくられたものです。

東洋館 10 室

◎ 瀟湘八景図屏風（部分） 人

展示期間：9 月 1 日（火）～ 10 月 12 日（月・祝）
朝鮮　朝鮮時代・16 世紀　広島・大願寺蔵

好学の武将・大内義隆が一切経を入手するため、厳島大願寺の僧・尊海を朝鮮に派遣、尊海は帰国時にこの屏風を将来しました。図の裏には、尊海が朝鮮を訪れた際の興味深い日記が残されています。

表

裏

東洋館 5 室

特集「漢・唐時代の陶俑」

9 月 1 日（火）～ 12 月 23 日（水・祝）

本特集では、陶俑（ひとや動物を象った焼物）の魅力とともに、陶俑が 20 世紀初頭に中国で発見されてから日本の美術界に定着するまでの歴史をご紹介します。なかでも、「唐三彩」は必見です。日本では奈良時代に将来されたものの忘れられ、大正・昭和の芸術家や実業家によって再評価された唐三彩。本特集では唐三彩にみる日中交流の足跡もたどります。

人

三彩鎮墓獣

中国
唐時代・7 ～ 8 世紀
横河民輔氏寄贈

墓の侵入者を威嚇する架空の動物「鎮墓獣」を表わしています

東洋館3室 「西アジア・エジプトの美術」

トーハクのミイラに会いに行こう！

親と子のギャラリー「ミイラとエジプトの神々」

7月22日(水)～9月13日(日)

トーハクで、古代エジプトのミイラが見られることをご存知ですか？　日本国内でいつでもミイラが展示されているのはトーハクだけ！　今年は、夏休み特別企画として、子どもたちに大人気の「パシェリエンプタハのミイラ」を中心に「古代エジプトでは、死んだらどうなる？」「古代エジプトでは、動物も神さまだった?!」の2つのテーマで展示します。

パシェリエンプタハのミイラ
第3中間期（第22王朝）・前945～前730年頃　エジプト、テーベ出土
エジプト考古庁寄贈
これがトーハクのミイラです。棺と一緒に展示されています

いつものトーハクでは見られないエジプトの神さまオシリスやミイラのマスクも展示されます。なぜ、古代のエジプト人たちは死んだ体をミイラにしたのでしょう？　ワークシートを見ながら、エジプトの「素敵」な死後の世界を探検しませんか。（小山弓弦葉）

ネコのミイラのマスク
末期王朝時代・前664年～前332年頃
エジプト出土　東京・松岡美術館蔵
古代エジプトではネコも神聖視されていました

〈関連企画〉

◆ワークシート「古代エジプトでは、死んだらどうなる？」
東洋館にて、ワークシートを無料配布します。4つの謎を解くと、最後にあっと驚くしかけが…！　プレゼントもご用意しています。

◆ファミリーワークショップ「親子でエジプト探検 in ナイト・ミュージアム」
日時:8月22日（土）18:00～20:00（17:30集合）　＊詳細は本誌13ページ参照

◆月例講演会　子ども質問箱「教えて！エジプトのひみつ」 質問大募集！
親と子のギャラリー「ミイラとエジプトの神々」の展示作品に関連した質問を募集します。質問には、8月29日（土）の月例講演会で当館研究員がお答えします。
応募方法：①質問箱：所定の質問用紙に記入し、東洋館3室内に設置してある質問箱にお入れください。　②ウェブサイト：当館ウェブサイトのフォームでご応募ください。　③はがき：はがき裏面に質問事項と住所、氏名、学年、電話番号、メールアドレスを記入し、〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9　東京国立博物館教育講座室「教えて！エジプトのひみつ」係まで。
＊質問は中学生以下対象。1回の応募につきひとつ
応募締切:8月23日（日）必着　＊講演会の詳細は本誌12ページ参照

◆ミュージアムシアター作品「東博のミイラ デジタル解剖室へようこそ」
「パシェリエンプタハのミイラ」に関連したプログラムです。
夏休み期間中は、小・中学生は無料！（詳細は本誌14ページ参照）
無料期間:7月22日（水）～9月13日（日）

東洋館3室 「西アジア・エジプトの美術」

仁王様の勇姿の原点

ヘラクレス像

9月15日(火)～2016年4月10日(日)

ヘラクレスはギリシア神話に登場する英雄で、死後父ゼウス神によって神格化されたと言われます。この像の出土地であるイラク北部のハトラは、パルティア王国の対ローマ軍事都市・シルクロードの隊商都市として、1～3世紀に栄えました。ここにはメソポタミアやイラン、地中海世界の諸文化が集まり、東西文明の交流が進みました。またガンダーラの仏教美術では、仏陀のボディーガードとされる執金剛神をヘラクレスの勇姿で表現しました。日本のお寺の山門を守る仁王のことです。（後藤健）

ヘラクレス像
パルティア時代・1～2世紀
イラク、ハトラ出土
イラク考古総局寄贈
ハトラ遺跡は古代の文明の十字路。それが現在危機に瀕していることは残念です

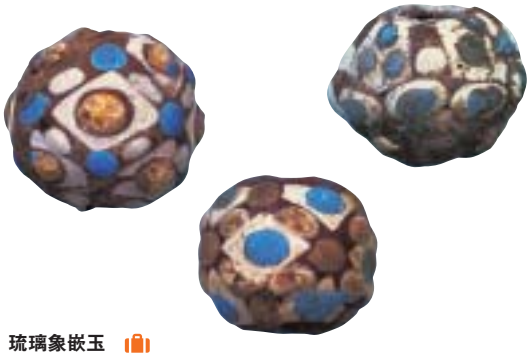
東洋館4室 「中国文明のはじまり」

繊細な細工に見入る

琉璃象嵌玉

～2016年4月24日(日)

丸い玉の中央に縦方向の孔が空いています。孔に紐を通し、ガラス玉をたくさん連ねて、装身具として用いました。表面に白と赤褐色の色ガラスで網目状の文様を描き、さらに、網目文の内外に設けたくぼみには青、白などの色ガラスを埋めこんでいます。中国のガラス工芸は、戦国時代（前5世紀）以降、西アジアからの影響のもとに発達し、弥生時代の日本列島にも伝わりました。西アジアから中国、さらには日本へと続くガラス玉の遠大な旅路に、思いを馳せてみてください。（川村佳男）



琉璃象嵌玉
中国　戦国時代・前5～前3世紀
ガラス玉は古代中国の貴人の装いに花を添えたことでしょう

東洋館5室

「中国の染織」

茶人の執着ここにあり！

「名物裂」

～10月12日(月・祝)

古裂帖

中国　元～明時代・13～17世紀

膨大な数の古渡り裂がその名称とともに貼られ、とても数え切れません！

宋・元時代以降、中国から日本に舶載された貴重な織物は、高名な禅僧や茶人などにまつわる伝承とともに後世に伝えられました。江戸時代になると、茶人たちは伝承にちなんだ名称をつけて「名物裂」と称し、茶道具を包む裂や袋として使用するために、莫大な財を投じて蒐集し始めます。数センチに満たない断片であっても大切にして、その名称とともに古裂帖としてまとめました。その数は茶器名物の図説である『古今名物類聚』(寛政元年〈1789年〉刊)の中に掲載される名物裂だけでも、150種あまりにもなるのです。

(小山弓弦葉)

東洋館9室

「中国の漆工」

貝の光彩で迫力満点

◎龍涛螺鈿稜花盆

～10月12日(月・祝)

螺鈿は貝殻の内側の真珠層を加工して、文様の形に切り抜いて貼る装飾技法のことです。中国や朝鮮半島などの螺鈿の漆器は、交易によって日本にもたらされ、舶来品として長く大事に伝えられてきました。ここで火炎宝珠を睨む龍の姿は迫力に満ち、波涛は躍動感に溢れています。薄い貝片を用いながら、各部で発色が異なるように貝を使い分け、細かく截った貝片を並べてモチーフを表わす手法は、元時代の螺鈿の特色です。この龍の体躯には、元代螺鈿の魅力がいかんなく発揮されています。

(竹内奈美子)

◎龍涛螺鈿稜花盆

中国　元時代・14世紀

シャープな器形も、元代漆器の見どころの一つです

東洋館10室

「朝鮮の王たちの興亡」

文字のちからが宿る

有銘環頭大刀

～2016年4月17日(日)

有銘環頭大刀

「不畏也□令此刀主富貴高遷財物多也」銘

朝鮮　三国時代・5世紀

金や銀で飾られた豪華な大刀は、各地の有力者の権威の象徴でした

背に彫った溝に銀線を埋め込んで、銘文が刻まれています。銘文の最初の部分は失われていますが、「この大刀を所持する者に何も畏れることはなく、高い地位と富が保証される」という言葉が読み取れます。

この頃、中国では刀剣に縁起のいい言葉(吉祥句)を刻む例があり、朝鮮の百済で作られた国宝「七支刀」(石上神宮所蔵)や、日本の熊本県江田船山古墳出土の国宝「銀象嵌銘大刀」(10月14日〈水〉より平成館考古展示室で展示予定)にも、吉祥句がみられます。文字に不思議な力があるという思想が東アジアで共通していたことがうかがえます。

(白井克也)

東洋館13室

「インドの細密画」

一枚の絵から読みとる交流

木の下で思索する托鉢の聖者

9月15日(火)～10月12日(月・祝)

インドの細密画の制作が本格化するのは、16世紀初めに成立したムガル王朝の時代です。

第2代皇帝のフマユーンは、イランのサファヴィー朝に仕えていた2人の画家をインドに連れ帰りました。第3代皇帝のアクバル帝は、イラン人画家にインド人画家の指導をさせました。これによってイランの影響が色濃いムガル派の絵画が成立しました。この作品では細やかな画風のみならず、人物の衣装もペルシャ風となっています。絵が左側に寄っているのは、冊子の写本の形を踏襲して配置しているためです。

(小泉惠英)

部分

木の下で思索する托鉢の聖者

17世紀中頃 インド、ムガル派

ミクロの世界にひろがるインドの多様な文化をお楽しみください

術の流れ
戸まで、どる日本美術史

7/28 火 ― 10/12 月・祝

◎樫鳥糸肩赤威胴丸

室町時代・15世紀
秋田一季氏寄贈
卓抜した技巧の装飾をみせる、陸奥・三春藩主秋田家に伝来した胴丸です

4 茶の美術

― 10/4 日

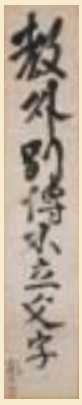
禾目天目　中国・建窯
南宋時代・12～13世紀
広田松繁氏寄贈
黒釉の中に細い線が幾筋もあらわれた神秘的な天目茶碗

青磁下蕪双耳花入　中国・龍泉窯
明時代・15世紀　広田松繁氏寄贈
このつややかな若草色の釉が日本の戦国大名や茶人たちを惹きつけました

3-3 禅と水墨画 ― 鎌倉～室町

― 8/2 日

山水図屏風
「秀峰」印
室町時代・16世紀
うねりと動勢のある構図は、関東で活躍した雪村のそれによく似ています



9/15 火 ― 10/25 日

◎山水図
岳翁蔵丘筆　天隠龍澤賛
室町時代・15世紀
松永安左エ門氏寄贈
画中の人物となって絵の中を歩めば、美しい山々を眺めることができるでしょう

8/4 火 ― 9/13 日

一行書「教外別伝不立文字」
一休宗純筆
室町時代・15世紀
禅の教えを凝縮した「教外別伝不立文字」を一休が書いたものです

3-2 宮廷の美術 ― 平安～室町

9/15 火 ― 10/25 日

◎男衾三郎絵巻（部分）
鎌倉時代・13世紀
性格の異なる関東武士の兄弟をめぐる物語です

8/4 火 ― 9/13 日

◎馬医草紙（部分）　鎌倉時代・文永4年（1267）
著名な馬医と名馬の姿、馬の薬として用いる薬草を描きます

― 8/2 日 **◎時代不同歌合絵**
鎌倉時代・14世紀
時代を超え、新旧の歌人たちが和歌を競います

入口

本館 1-1 室
日本美術のあけぼの
― 縄文・弥生・古墳

本館 1-2 室
仏教の興隆
― 飛鳥・奈良

本館 2 室
国宝室

1-1 日本美術のあけぼの ― 縄文・弥生・古墳

平成館考古展示室閉室に伴う代替展示を行います。

― 8/30 日 **◎台付壺**　弥生時代（後期）・1～3世紀
愛知県名古屋市熱田区高蔵町熱田貝塚出土　徳川頼貞氏寄贈
洗練された形と巧みに塗り分けられた彩色が、見事に調和した土器です

◎埴輪 猿　伝茨城県行方市沖洲
大日塚古墳出土　古墳時代・6世紀
背中の子猿を気遣う母猿の姿を表した、愛らしい埴輪です

9/1 火 ― 12/23 水・祝

火焔型土器
伝新潟県長岡市馬高出土
縄文時代（中期）・前3000～前2000年
縄文はありませんが、この土器がもっとも有名な縄文土器でしょう

1-2 仏教の興隆 ― 飛鳥・奈良

― 8/2 日 **◎大般若経　巻第四百六十八（神亀五年五月十五日長屋王願経）**
奈良時代・神亀5年（728）　個人蔵
長屋王が制作させた日本最古の大般若経で、他に類例のない長い麻紙を用いています

2 国宝室

― 8/2 日 **◉随身庭騎絵巻**（部分）
鎌倉時代・13世紀　東京・大倉集古館蔵
実在した随身＝高貴な人に随行して警護にあたった武官を、容貌まで似せて生き生きと描いています

8/4 火 ― 9/6 日

◉源 頼朝書状（宝簡集 巻第二のうち）
平安時代・文治2年（1186）
和歌山・金剛峯寺蔵
『吾妻鏡』にも所収された書状。源頼朝の政治思想が表れた重要な史料です

9/8 火 ― 10/4 日 **◉秋萩帖**　伝小野道風筆　平安時代・11～12世紀
平安時代後半のやわらかい筆致で書写された、流麗な草仮名をお楽しみください

― 2016/4/10 日 **◉延金（興福寺鎮壇具のうち）**
奈良市興福寺中金堂須弥壇下出土
奈良時代・8世紀
金・銀・真珠・水晶・瑠璃や、除魔の呪術的効果があると信じられたものが埋められました

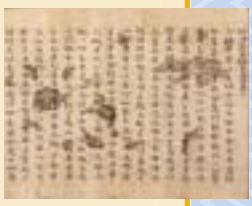
9/15 火 ― 10/25 日

◎等目菩薩経巻中（吉備由利願経）
奈良時代・天平神護2年（766）　反町英作氏寄贈
吉備真備の親族で女官の由利が発願した一切経のひとつ。大ぶりの堂々とした文字です

3-1 仏教の美術 ― 平安～室町

9/15 火 ― 10/25 日

◉法華経　方便品（竹生島経）（部分）
平安時代・11世紀
鳥や草花などの大らかな下絵と穏やかな書風の文字が織り成す優雅さは格別です



8/4 火 ― 10/25 日

◎愛染明王坐像
鎌倉時代・13世紀
彩色から装身具まで当初のまま！ その美しい造形にご注目ください

― 8/2 日

◎虚空蔵菩薩像
鎌倉時代・13世紀　武藤山治氏寄贈
求聞持法の本尊と伊勢朝熊山権現の本地仏との両方を兼ねた画像。鮮やかな彩色が印象的です

8-9ページに掲載の作品について、音声と文字による詳しい解説を、スマートフォン向けアプリ「トーハクなび」で公開しています。一部作品は対象外となりますので、展示室でトーハクなびマークを ご確認ください。　＊展示室で音声ガイドをご利用になる場合は、イヤフォンが必要です。

7 屏風と襖絵 ── 安土桃山・江戸

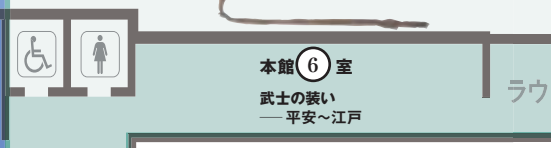
9/15 火 ─ 10/25 日
◎浅間山図屏風（部分）　亜欧堂田善筆
江戸時代・19世紀
洋風画の実力者が信州の風景を描いています。その不思議な魅力をお楽しみください

8/4 火 ─ 9/13 日
龍虎図屏風（部分）　曽我直庵筆
安土桃山～江戸時代・17世紀
貿易都市堺の絵師の個性、迫力の大作を目の前にご覧ください

8/2 日
犬追物図屏風
江戸時代・17世紀
弓術の作法をみがく伝統競技。見物人たちの豊かな表情に注目を！

5 6 武士の装い ── 平安～江戸

◎刀 長船元重　南北朝時代・14世紀
◎朱漆打刀（◎刀 長船元重の拵）
安土桃山～江戸時代・16～17世紀
徳川家康の次男である結城秀康の指料で、外装は無骨で華やかです



総合文化展 見どころ案内
本館２階
［8月▷9月］
日本美
縄文から江
ほんものでた
必見

8-1 暮らしの調度 ── 安土桃山・江戸

8/4 火 ─ 10/25 日

七宝菊水文引手
江戸時代・18世紀
菊水文様は長寿の象徴で、襖や引き戸の引手には、七宝の優品が多く見られます

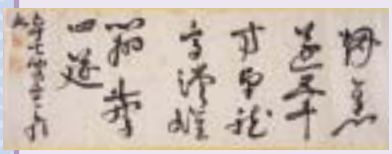
8/2 日

網干鷺蒔絵棚
江戸時代・17世紀
網を干す情景は、当時の屏風や工芸品によくみられる、人気のモチーフです

8-2 書画の展開 ── 安土桃山・江戸

8/2 日

朝顔狗子図杉戸（部分）
円山応挙筆
江戸時代・天明4年（1784）
たまらなく愛くるしい子犬の描写に、応挙の優しいまなざしが…



8/4 火 ─ 9/13 日
飲中八仙歌
寂厳筆　江戸時代・明和5年（1765）
唐代の酒豪を紹介した杜甫の詩。書の素材として古来人気です

9/15 火 ─ 10/25 日
◎葡萄図　立原杏所筆
江戸時代・天保6年（1835）
沈酔状態で描かれた絵画。激しい筆致から武士の覚悟が湧きあがります

一行書「積徳厚自受薄」
良寛筆　江戸時代・19世紀
竹内静子氏寄贈
諸国を行脚し、多くの逸話で知られる良寛の飄逸な書です

9 能と歌舞伎

9/6 日
本館14室の特集「能面　女面の表情」（本誌10ページ参照）とあわせてご覧ください。

◎縫箔
白地桐鳳凰芦桜雪持竹肩裾模様
安土桃山時代・16世紀
肩裾模様は室町～安土桃山時代の能で、女性役の表着に使われました

9/8 火 ─ 11/3 火・祝
能「紅葉狩」に合わせて、江戸時代を中心とした面・装束を紹介します。
唐織 金紅萌黄段敷瓦菊薄模様
江戸時代・18世紀
安土桃山時代のデザイン様式と江戸時代の技術を融合させた豪華絢爛な唐織です

【衣装】 9/6 日
帷子や単衣、ガラス製の簪などすずしげな夏の服飾を中心に展示します。

9/8 火 ─ 11/3 火・祝
重陽の節供にちなんだ菊の模様や、秋草模様の小袖を中心に展示します。
小袖 白綸子地菊網文字模様
江戸時代・18世紀
まとう女性の教養をうかがわせる漢詩の文字散らし模様です

帷子 黒麻地御簾藤模様
江戸時代・18世紀
王朝趣味が流行った元禄期の雅やかな御簾模様です

10 浮世絵と衣装 ── 江戸

【浮世絵】

8/2 日
夏の風物を描いた浮世絵と団扇のために描かれた浮世絵を展示します。
猫のすゞみ　歌川国芳筆
江戸時代・19世紀
両国での猫の納涼を描いた団扇絵です

8/4 火 ─ 8/30 日
女性の夏姿を描いた作品を中心に、広重の風景画や北斎の人物画を加えて展示します。
◎娘日時計・辰ノ刻
喜多川歌麿筆　江戸時代・18世紀
夏の朝の女性を描いた歌麿の冒険作です

9/1 火 ─ 9/27 日
近世初期風俗画のから幕末の錦絵まで多様な浮世絵の世界をご覧ください。
風俗四季哥仙・菊月
鈴木春信筆　江戸時代・18世紀
重陽の節句の日、若者をめぐる恋の行方は？

本館特別1室

様々な神さまの描かれ方に注目

特集「春日権現験記絵模本Ⅱ ―神々の姿―」

9月1日(火)～10月12日(月・祝)

数ある絵巻作品の中でも最高峰の一つに数えられる「春日権現験記絵」。原本は鎌倉時代後期に制作された全20巻の絵巻で、宮内庁三の丸尚蔵館に所蔵されます。

この特集は、江戸時代後期に写された春日権現験記絵模本の魅力とともに、春日信仰の諸相を様々な角度から紹介する2回目の企画です。今回は「神々の姿」をテーマとしました。本来、神の姿は眼に見えないはずですが、この絵巻の中では束帯の男性、貴女、童子、仏など、様々な姿で描かれています。変幻自在な神々の姿にご注目ください。（土屋貴裕）

巻第一　竹の上に坐す貴女姿の春日明神

春日権現験記絵（模本）
冷泉為恭他模　江戸時代・弘化2年（1845）

巻第十　木の上で、束帯姿で舞を舞う春日明神

巻第十一　地蔵菩薩の姿で顕現した春日明神

巻第十四
僧の膝の上に乗る童形の春日明神

本館特別2室

江戸時代初期の宮廷文化

特集「後水尾院と江戸初期のやまと絵」

8月11日(火)～9月23日(水・祝)

後水尾院（在位1611～1629）は江戸時代初期の天皇です。3代将軍家光の妹東福門院和子が入内したことで、徳川家とも近い関係を持ちました。文化を好み、和歌を熱心に研究し、また詠んだことでも知られます。古今和歌集の秘伝である「古今伝授」を公卿たちに授けるなどの古典を守り伝える活動も、江戸時代の公家文化の基礎を築いたといえるでしょう。この展示では、後水尾院の役割と周辺の公卿たち、そして彼らの注文に応えた絵師たちの姿がうかがえる作品を紹介します。

後水尾院が生けた立花が記録されている「立花図屏風」は、本特集と次の特集「江戸の写生図―可憐なる花卉図の源泉―」（9月29日〈火〉～10月25日〈日〉本館特別2室）とで一隻ずつ展示します。（遠藤楽子）

◎古今和歌集
二条為明筆
鎌倉時代・元亨4年（1324）
後水尾院による古今伝授の記録が一緒に残る貴重な本です

十二ヶ月歌意図巻　下巻
土佐光起筆　江戸時代・寛文4年～8年（1664～1668）
藤原定家の十二ヶ月和歌を主題にしています。
絵とともに、後水尾院周辺の公卿が和歌を書写しています

本館14室

能面にみるオンナの感情

特集「能面　女面の表情」

～10月4日(日)

若い清楚な女性、艶やかな女性、歳を重ねて悩み苦しむ女性などを表す様々な女面と、女性の怨みを表す般若などの細やかな造形表現をご覧いただきます。

能では演目の登場人物ごとに専用の面があるわけではありません。どの面を使うかは能楽師が選び、その面の個性にふさわしい表現で演じるため、使う面によって演目中の人物の雰囲気が変わります。性格がどのように表現されているかは、女面の造形の面白さのひとつ。装束の選択も同様に、能楽師に委ねられています。本館9室「能に見る女性の風姿」（～9月6日〈日〉）とあわせてご覧になれば、女性のこころを表現しようとした能の造形をより一層お楽しみいただけるでしょう。（川岸瀬里）

◎能面 般若
江戸時代・17～18世紀
奈良・金春家伝来
高貴な女性の激しい恨みの奥に、孤独と悲しみ、苦悩を感じます

能面 万媚
江戸時代・17～18世紀
上杉家伝来
艶かしい美しさを持つ若い女性の面。健康的な明るい表情です

本館1室　日本美術のあけぼの

トーハクに降臨！「3000年に1人」のアイドル

重文　遮光器土偶

9月1日(火)～11月23日(月・祝)

当館で土偶といえば、青森県亀ヶ岡出土の遮光器土偶が著名ですが、これに肩を並べる土偶の名品をご紹介します。

大きく誇張された目に上向きの鼻、小さく丸い口がユーモラスな印象を与えるその顔は、遮光器土偶おなじみのもの。注目して欲しいのは、デフォルメされた体の表現をいかし、全身を覆い尽くすように施された文様です。一見複雑なこの文様、実は線対称と点対称とをうまく組み合わせて文様が配置されているのです。縄文人のデザインの妙が見事に発揮された遮光器土偶、ぜひご覧ください。

（品川欣也）

◎遮光器土偶
宮城県大崎市田尻蕪栗字恵比須田出土
縄文時代（晩期）・前1000～前400年
シンメトリーをうまく取り入れた遮光器土偶の文様デザインです

本館2室　国宝室

時代を超えて愛される名筆

国宝　秋萩帖

9月8日(火)～10月4日(日)

48首の和歌を、すべて草仮名で書写した珍しい作品です。平安時代後半の柔らかい筆致で、その流麗な草仮名は、伏見天皇（1265～1317）が愛玩し、江戸時代には良寛（1751～1831）が習書したことでも有名です。2紙目以降の紙背に「淮南子」（中国 唐時代・8世紀）が記されており、染紙を美しく色変わりで継いでいます。さらに、16紙目から王羲之の尺牘が臨書されていることも貴重です。各時代の人々が愛好してきた平安時代の草仮名をご堪能ください。

（恵美千鶴子）

◉秋萩帖
伝小野道風筆　平安時代・11～12世紀
「あきはぎの」ではじまるため「秋萩帖」と呼ばれます

本館13室　刀剣

短刀の名工が生み出した一口

国宝　短刀 粟田口吉光（名物 厚藤四郎）

～9月23日(水・祝)

名物刀剣の名づけ方には、そのものの個性的な特徴と作者の名を組み合わせたものがあります。「厚藤四郎」は、重ね（厚み）が極端にあり、藤四郎と称された吉光による短刀であることからこの名があります。吉光は鎌倉時代の京都・粟田口に居住したとされる刀工で、その作品には短刀が多く、地鉄や刃文の緻密な作風がかもし出す格調の高さが見どころです。この短刀は、吉光の作品としては賑やかな刃文をみせ、もとは足利将軍家の御物といい、その後、黒田如水、豊臣秀次などの手を経て、江戸時代には長く徳川将軍家に伝わりました。

（酒井元樹）

◉短刀 粟田口吉光（名物 厚藤四郎）
鎌倉時代・13世紀
独特な姿（形状）とともに、細かい変化がみられる賑やかな刃文もみどころです

本館18室　近代の美術

にぎわいを伝える鮮やかな色彩

重文　熱国之巻（夕之巻）

8月25日(火)～10月4日(日)

大正3年（1914）、インドに渡った今村紫紅は各地を取材し、自然と人々の生活をとりあげて、巧みに構成した構図と、まばゆい彩色によって斬新な絵巻を描きました。紫紅は西洋絵画から、さまざまな表現方法をとり入れて、日本画の新たな局面を切り拓いた画家です。この代表作ともいえる絵巻をご覧いただければ、点描であらわした景観のなかで、画面にまかれた金砂子（金粉）の効果もあいまって、インドの熱気とともに人々の営む生活の実感がわいてくることでしょう。（松嶋雅人）

◎熱国之巻（夕之巻）
今村紫紅筆　大正3年(1914)
画面からインドの光と空気が伝わってきます

PART 1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講座・講演会・ギャラリートーク

講演会

月例講演会　子ども質問箱「教えて！エジプトのひみつ」

＊関連展示：本誌６ページ
日時：8月29日（土）　13:30～14:30
講師：小野塚拓造（特別展室アソシエイトフェロー）ほか
親と子のギャラリー「ミイラとエジプトの神々」の展示作品を中心に、古代のエジプトに関する子どもたちの「なぜ？　どうして？」について研究員がお答えします。（質問の応募方法は本誌６ページを参照）

月例講演会　「江戸の写生図―可憐なる花卉（かき）図の源泉」

日時：9月26日（土）　13:30～15:00
講師：小野真由美（貸与特別観覧室主任研究員）
江戸初期の写生図について、それを描いた絵師や制作背景について紹介します。

＊会場は平成館大講堂、定員380名（先着順）、聴講無料（ただし、当日の入館料が必要）
＊開場は開始の30分前（予定）

ギャラリートーク

国宝になった醍醐寺の虚空蔵菩薩立像（こくうぞうぼさつりゅうぞう）

日時：8月7日（金）　18:30～19:00　本館11室
講師：西木政統（絵画・彫刻室アソシエイトフェロー）
この春、国宝に指定された虚空蔵菩薩立像は、これまで「聖観音」として親しまれていました。なぜ国宝なのか、名前が変わった理由も含めお話いたします。

後水尾（ごみずのお）院と東博の十二ヶ月花鳥図巻　＊関連展示：本誌10ページ

日時：8月18日（火）　14:00～14:30　本館特別２室
講師：遠藤楽子（出版企画室研究員）
特集「後水尾院と江戸初期のやまと絵」の見どころを紹介します。

東洋の白磁　＊関連展示：本誌４ページ

日時：8月25日（火）　14:00～14:30　東洋館５室
講師：三笠景子（東洋室研究員）
中国にはじまり、朝鮮、ベトナム、日本へと展開した白磁。各地で花ひらいた白いやきものの魅力をお話します。

後水尾院と住吉派のはじまり　＊関連展示：本誌10ページ

日時：9月1日（火）　14:00～14:30　本館特別２室
講師：瀬谷愛（保存修復室研究員）
古典文化の復興に力を注いだ後水尾院は、鎌倉時代に活躍した絵師の家を再興して「住吉派」を誕生させました。その始まりについてお話します。

能面入門　＊関連展示：本誌10ページ

日時：9月4日（金）　18:30～19:00　本館14室
講師：淺湫毅（教育講座室長）
特集「能面 女面の表情」にちなみ、能面の楽しみ方講座（入門編）を行います。

江戸初期の写生図とその背景

日時：9月29日（火）　14:00～14:30
本館地下 みどりのライオン（教育普及スペース）
講師：小野真由美（貸与特別観覧室主任研究員）
江戸文化の華のひとつである写生図。その原点を捉えるべく、江戸初期の作例についてお話します。

博物館でお花見を「花見で一句」館長賞発表

「博物館でお花見を」（3月17日～4月12日）の関連企画、東博句会「花見で一句」では、期間中館内の投句ポストに一般の部293句、小学生以下の部43句のご応募をいただきました。

応募作品の中から、一般の部 館長賞1名、副館長賞2名、桜賞3名、小学生以下の部 館長賞1名、副館長賞1名を発表します。受賞者のみなさまには記念品を送らせていただきました。皆様のご参加、まことにありがとうございました。

一般の部

館長賞
砂利道に裾のまつわる花疲れ　宮川夏

副館長賞
散りて尚水面（なほみずも）に描く花もよう　藤井孝祐
みちのくの円空仏と花見かな　西原京子

桜賞
花めでしモザイクの壁時流る　Y・N
揺るること無くて涅槃の糸桜　西田克憲
屏風絵の古人（いにしえびと）と花見酒　長坂美代子

小学生以下の部

館長賞
仏様おいでよ外にお花見だ　翠姫

副館長賞
桜の木見返り美人もふりかえる　江良勇介

（敬称略）

PART 2

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制　［往復はがき、ウェブサイトフォーム］

アートスタジオ・こどもたちのアートスタジオ

ファミリーで勾玉（まがたま）作り

古代の勾玉を見学した後に、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成品はお持ち帰りいただけます。

完成した勾玉

日時：11月1日（日）　13：30～15：30
会場：本館地下 みどりのライオン（教育普及スペース）
対象：小学3年生～中学生とその保護者
定員：7組程度（応募者多数の場合は抽選）
参加費：無料（ただし、大学生以上は当日の入館料が必要）
申込方法：当館ウェブサイトのフォームまたは往復はがきでお申し込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に（1）参加者全員（5名まで）の氏名・ふりがな・お子さんの学年、（2）代表者の郵便番号・住所、（3）代表者の電話番号、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。
※1回の入力あるいは1枚のはがきで、5名まで申込可。
申込先：〒110-8712　東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館ボランティア室「11月1日ファミリーで勾玉作り」係
申込締切：10月5日（月）　必着

PART 3

五感を使った美術体験

ワークショップ・ツアー・工程見本

事前申込制 ［ウェブサイトフォーム］

ファミリーワークショップ

親子でエジプト探検 in ナイト・ミュージアム

＊関連展示:本誌6ページ

夜の博物館で展示を見たり、ミイラをテーマにしたバーチャル・リアリティ映像を見てミイラの謎に迫ったり、わくわく楽しい探検をしてみませんか？

日時：8月22日（土）
18:00～20:00（17：30集合）
会場：東洋館3室、東洋館シアター
対象：小学生とその保護者
定員：10組（応募者多数の場合は抽選）
参加費：無料
申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申し込みください
申込締切：8月6日（木）必着

夜のミイラはどんな顔？ 古代エジプトの死後の世界を探ります

ワークショップ＆ファミリーワークショップ

能の裏側体験

＊関連展示:本誌10ページ

特集「能面 女面の表情」に関連したワークショップです。能面や衣装はどのようにつけるのでしょうか？ 能楽師の先生の着付け実演を見学したり、能面をかけてみたり、能舞台では見られない能の裏側を体験してみましょう！

日時：9月12日（土） ①10:00～12:30 ②14:00～16:30
講師：シテ方観世流能楽師 浅見慈一氏、小早川泰輝氏
会場：本館地下 みどりのライオン（教育普及スペース）
対象：①小学生とその保護者のペア
②高校生以上
定員：①10組20名 ②20名（応募者多数の場合は抽選）
参加費：無料（ただし大学生以上は当日の入館料が必要）
申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申し込みください。
申込締切：8月27日（木）必着

ファミリーツアー＆子どもツアー

トーハク劇場へようこそ！

トーハクには、古い歴史をもったものがたくさん！ 考古学をテーマにした演劇形式のツアーです。劇場にお芝居を観に行くような、わくわくした気分で展示室へ出発！

日時：ファミリーツアー
A. 10月17日（土）10:00～11:00
B. 10月18日（日）10:00～11:00
C. 10月24日（土）10:00～11:00
D. 10月25日（日）10:00～11:00

子どもツアー
E. 10月17日（土）13:30～14:30
F. 10月18日（日）13:30～14:30
G. 10月24日（土）13:30～14:30
H. 10月25日（日）13:30～14:30

対象：A～D 小学1～3年生とその保護者／E～H 小学4～6年生（保護者の見学可能）
※いずれも応募者多数の場合は抽選
定員：A～Dは各回10組、E～Hは各回20名
参加費：無料（ただし、大学生以上は当日の入館料が必要）
申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申し込みください。
※子どもツアー（E～H）は対象年齢内であれば、1回の入力で3人まで申込可。
申込締切：A～Hいずれも 10月1日（木）必着
※インターネットからのお申し込みができない方は、お電話でお問い合わせください。TEL：03-3822-1111（代）教育普及室

工程見本展示

東洋絵画の絵具の秘密 ―国宝「紅白芙蓉図」―

日時：9月25日（金）～2016年3月13日（日） 本館19室 みどりのライオン

東洋絵画では、鉱物・植物・動物・昆虫など、自然界にあるさまざまな材料を加工して、絵具として使用してきました。中国の南宋時代・慶元3年（1197）に宮廷画家の李迪（りてき）によって描かれた国宝「紅白芙蓉図」も、その特色を巧みに活かした作品のひとつです。染料と顔料で描いた工程見本を通して、多彩な東洋絵画の絵具についてご紹介いたします。

「紅白芙蓉図」工程見本

＊「東洋館シアター」とは、東洋館TNM&TOPPANミュージアムシアターのことです。
＊事前申込プログラムにお申し込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問い合わせください。TEL：03-3822-1111（代）
＊各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

1000年後の未来にバトンタッチ！

保存と修理情報 30

調湿剤はどこにある？

展示ケース内の湿度を一定に保つために使われるのが「調湿剤」です。「湿度」を「調節」する機能を持つ調湿剤は、乾燥剤とは少し異なる働きをします。調湿剤はそれぞれ調節できる湿度値を持っており、展示ケース内の湿度がそれよりも高ければ吸湿し、低ければ放湿してくれる、とても便利な素材です。さて、調湿剤は展示ケースのどこに設置されているのでしょうか。実は目立たぬように、有孔パネルで覆われた床面の溝（写真2）、あるいは底部に組み込まれた引き出しの中（写真3）などに設置されています。

調湿剤は設置した場所と調湿したい場所との間に通気性を持たせなければ効果が出ません。例えば引き出しを使う場合は、調湿剤と作品との距離が離れてしまい、効果的に調湿できないおそれがあります。それを防ぐために、引き出しには送風ファンが内蔵されています。送風ファンからの気流は極めて弱いものですが、調湿した空気をゆるやかに循環する役目を果たしてくれます。調湿剤は目立たない場所でしっかりと展示ケース内の環境を守ってくれているのです。

（和田浩）

▲（写真1）調湿剤の中身

▲（写真2）展示ケース床面に設置された調湿剤

▲（写真3）引き出しに設置された調湿剤

TNM & TOPPANミュージアムシアター

○『東博のミイラ デジタル解剖室へようこそ』～10月12日（月・祝）

エックス線CT画像、三次元計測データ、赤外線撮影データといった最新のデジタルアーカイブデータを用いて、骨格から性別や年齢、身長などの推定、棺に描かれた図像の再現など、科学の眼から「パシェリエンプタハのミイラ」の謎に迫ります。

＊関連展示：本誌6ページ

料金：一般・大学生・高校生：500円、小学生・中学生：300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名：無料（1作品/1回あたり）

＊夏休み期間中の7月22日（水）～9月13日（日）は、小・中学生は鑑賞無料です。

＊総合文化展とセット購入で一般：1,000円／大学生800円
＊所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。
＊演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。
＊詳細はウェブサイトをご覧ください。　URL http://www.toppan-vr.jp/mt/

特別展「始皇帝と大兵馬俑」チケットプレゼント

本誌3ページでご紹介した特別展「始皇帝と大兵馬俑」（10月27日〈火〉～2016年2月21日〈日〉）の無料観覧券を抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は9月28日（月）必着。

＊プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、性別、年齢ならびにこの号で一番おもしろかったページをご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712　東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館 広報室「ニュース8・9月号」プレゼント係

休館・閉室情報

下記の展示館を一時閉室・休館しています。

東洋館8室：8月3日（月）～9月7日（月）［展示環境整備のため］
表慶館：当面の間（特別展・イベント開催時を除く）［展示環境整備のため］
法隆寺宝物館：～2016年3月14日（月）［環境整備工事のため］
平成館考古展示室：～10月13日（火）［リニューアルのため］

10月10日（土）は留学生の日です

トーハクでは、外国人留学生の方々に日本の文化や伝統に触れ、理解を深めていただくため、毎年「留学生の日」を実施しています。留学生、ALTおよびその同行者は総合文化展が無料です。ボランティアによる各種ガイドツアー・お茶会（有料・当日申込制）など、さまざまなイベントを企画しています。お誘い合わせのうえ、ぜひご来館ください。

『MUSEUM』656号（2015年6月15日発行）の掲載論文

①「早崎梗吉の活動について―ボストン美術館蔵岡倉覚三蒐集中国彫刻コレクションを中心として―」大西純子（東京藝術大学美術学部教育資料編纂室）
②「《作品紹介》法隆寺伝来　描絵綾天蓋垂飾」三田覚之（教育普及室・工芸室研究員）
③「《表紙解説》舎利容器」勝木言一郎（出版企画室長）

お問合せ：当館ミュージアムショップまたは中央公論事業出版（電話03-5244-5723）

定価：1,543円（税込）

資料館より―「シーボルト旧蔵本」デジタル・アーカイブの公開

当館所蔵「シーボルト旧蔵本」は、シーボルトが2度目の来日時に携行・収集した洋書です。このたび、図書館振興財団より助成を受け、同旧蔵本のデジタル・アーカイブを公開しました。『シーボルト将来本目録』（郁文堂、昭和11年複製）の記載内容を併録しています。外部所蔵文献を含むシーボルト旧蔵本全体の把握にご活用ください。

東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同をいただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年（入会月の翌年同月末日まで）有効。

⦿年会費
〈団体〉プレミアム会員　1,000万円以上
　特別会員　100万円（1口）
　維持会員　20万円
〈個人〉プレミアム会員　100万円以上
　特別会員　20万円／維持会員　5万円

⦿主な特典
- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

⦿申込方法
当館窓口のほか、当館ウェブサイト（クレジットカード決済）、銀行振込で随時受け付けています。

⦿お問合せ
東京国立博物館総務部 賛助会担当
電話　03-3822-1111（代）

東京国立博物館賛助会員　2015年7月13日現在

特別会員 団体

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様
ブルガリ ジャパン株式会社 様
公益財団法人 東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様
日本ロレックス株式会社 様
サロン・ド・ソネット 様
株式会社 ミュージアムスタイルカフェ 様
株式会社 東芝 様
株式会社 みずほ銀行 様
一般財団法人 東京国立博物館協力会 様

維持会員 団体

株式会社 三冷社 様
株式会社 東京美術 様
日本通運株式会社 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 古美術藪本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
株式会社 東京書芸館 様
インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様
有限会社 システム設計 様
TBS 様
株式会社 インターネットイニシアティブ 様
株式会社 小西美術工藝社 様
有限会社 ギャラリー竹柳堂 様
株式会社 育伸社 様
株式会社 モリサワ 様
アミ開発有限会社 様
光村図書出版株式会社 様
キョーリン製薬ホールディングス株式会社 様
株式会社 資生堂 様
株式会社 グラスバウハーン・ジャパン 様
株式会社 デュナミス 様
キッコーマン株式会社 様
公益社団法人 創玄書道会 様
朝陽書道会 様
一般社団法人 書芸文化院 様
株式会社 精養軒 様
株式会社 都市環境企画 様
全日本空輸株式会社 様
株式会社 清光社 様
有限会社 アトリエ・エビス 様
一般社団法人 学士会 様
公益財団法人 書道芸術院 様
アズビル株式会社 様

個人

プレミアム会員
岩間 良孝 様

特別会員
辻 泰二 様
昆 政彦 様
田中 將介 様
堀内 洋志 様
林 秀彦 様

維持会員
木村 則子 様
髙木 聖鶴 様
伊藤 信彦 様
籔内 匡人 様
服部 悦子 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
和田 喜美子 様
佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様
中川 俊光 様

関谷 徳衛 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保 のり子 様
櫛田 良豊 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様
観世 あすか 様
星埜 由尚 様
渡辺 章 様
稲垣 哲行 様
飯岡 雄一 様
高瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
寺浦 信之 様
高木 美華子 様
吉原 知良 様
古屋 光夫 様
根田 穂美子 様
松本 澄子 様
是常 博 様
上野 孝一 様
北山 喜立 様

山田 泰子 様
栄田 陸子 様
岡田 博子 様
絹村 安代 様
臼井 生三 様
津久井 秀郎 様
川澄 祐勝 様
神通 豊 様
神通 豊一 様
永久 幸範 様
五十嵐 良和 様
石川 公子 様
青山 千代 様
藤崎 英喜 様
永田 実香 様
西岡 康宏 様
友景 紀子 様
東野 治之 様
竹下 佳宏 様
野澤 智子 様
池谷 正夫 様
脇 素一郎 様
秦 芳彦 様
木谷 騏巳郎 様

髙梨 兵左衛門 様
渡久地 ツル子 様
汐崎 浩正 様
堤 勝代 様
平井 千惠子 様
青山 道夫 様
髙橋 静雄 様
田中 千秋 様
小西 皓也 様
清川 勉 様
仙石 哲朗 様
高見 康雄 様
田中 望 様
三井 速雄 様
坂詰 貴司 様
吉田 靖 様
松本 雅彦 様
篠田 喜弘 様
片山 正紀 様
伊藤 喜雄 様
井上 雄吉 様
細川 要子 様
錦織 伸一 様
鈴木 幸一 様

秋元 文子 様
土師 詔三 様
上塚 建次 様
鏡 賢志 様
野口 圭也 様
渡邊 雪絵 様
佐藤 禎一 様
田中 榮二 様
谷川 紀彦 様
山口 隆司 様
原 一之 様
会田 健一 様
桐畑 政義 様
相良 多恵子 様
熊谷 勝昌 様
鈴木 徹 様
今里 美幸 様
櫻井 恵 様
伊佐 健二 様
福井 一夫 様
軽部 由香 様
木越 純 様
井上 保 様
田中 信 様

岡 靖子 様
古川 晴紀 様
菊地 昌弐 様
岩本 光雄 様
鈴木 春朝 様
山上 知子 様
名取 幸二 様
増渕 信義 様
要 英範 様
本條 陽子 様
西原 賢一 様
片倉 正文 様
安田 格 様
原田 清朗 様
筑紫 みずえ 様
鳥山 玲 様
尾崎 邑鵬 様
倉片 康雄 様
栗山 哲夫 様
大口 樵翁 様
梅本 聖 様
榎本 享世 様
田頭 一舟 様

岡田 良雄 様
阿部 和加子 様
師田 久子 様
井茂 圭洞 様
髙味 良信 様
廣田 穣 様
杉山 恭規 様
笹森 美子 様
高橋 明子 様
村井 明美 様
小塚 泰博 様
星 八郎 様
星 弘道 様
西永 義久 様
田中 節山 様
髙木 聖雨 様
田浦 宏己 様
山中 翠谷 様
荒木 章 様
関口 大志 様
柳村 衛 様
樺澤 剛志 様
小日向 志乃 様
佐藤 貴士 様

横田 隆義 様
新保 幸男 様
山田 伊知郎 様
中野 俊介 様
手塚 眞由美 様
井出 宗則 様
土屋 和彦 様
碓田 榮一 様
加納 隼人 様
林 和人 様
清水 透石 様
野本 陽代 様
福田 倫子 様
佐藤 芙蓉 様
青山 慶示 様
谷内 英一 様
杭迫 柏樹 様
樋口 顕一 様
吉永 喜代子 様
長嶋 益子 様
鴇 晃秀 様
髙山 真行 様
渡辺 婦美 様
鈴木 渓泉 様

今村 正 様
李 雲莉 様
供田 扶美 様
福武 正廣 様
江幡 真史 様
竹内 和世 様
岡野 一昭 様
伊藤 彰信 様
小林 浩和 様
加藤 正叙 様
蔵口 真理 様
田中 文雄 様
宮下 雅博 様
川上 宗雪 様
一川 毅彦 様
田代 雅彦 様
中村 伸夫 様
髙橋 薫 様
清田 志郎 様
宮川 寛子 様
佐野 淑子 様
中村 光宏 様
小野 透 様
菅野 良子 様

中田 公人 様
中島 米治郎 様
田中 久丸 様
神田 靖男 様
森本 晃生 様
石飛 博光 様
清原 真里 様
角田 保行 様
平尾 佳淑 様
三浦 基広 様
金光 真佐一 様
岩瀬 郵史 様
青木 瑞枝 様
川上 陽子 様
福代 暎山 様
竹内 明世 様
平田 恭之 様
谷口 敏枝 様
梅澤 鳳舞 様
羽石 史生 様
笠原 勉 様
長瀬 正行 様
武井 伸之 様
前田 寿子 様

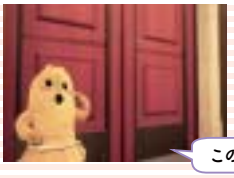
髙木 紘司 様
小河 恭子 様
田中 三伊 様
黒河 英俊 様
鈴木 健之 様
岩本 みち子 様
廣瀬 敏章 様
永野 剛志 様
堀川 佳津美 様
瀧本 篤 様
秦 貴清 様
秋元 幸雄 様
中山 安弘 様
野田 和佳子 様
水田 渉子 様
吉原 剛一 様
春日 信彦 様
本吉 丈夫 様
重田 綾子 様
松原 聡 様
五嶋 滋之 様
藤原 秀文 様
島谷 桂子 様
笹川 統 様

櫨上 静香 様
岩佐 恵子 様
竹中 洋介 様
杉浦 礼子 様
薄井 美香 様
向山 裕子 様
上島 啓祿 様
梅田 光昭 様
長井 真理 様
酒井 良哲 様
山神 英司 様
根岸 順 様
田中 眞知子 様
髙田 明典 様
高野 成子 様
森本 文子 様

ほか102名2社、順不同

トーハクくんのなるほートーハク

10月14日（水）リニューアルオープン
平成館考古展示室を潜入調査だほ！



トーハクくんとユリノキちゃんがやってきたのは、閉室中の平成館考古展示室前。本日のミッションは、リニューアルオープン前の考古展示室への潜入です。さてさて、考古展示室はどのように変わるのでしょう？

このトビラの奥に、リニューアルのひみつが隠されているんだほ！

いよいよ調査スタート！

1 大スター「挂甲の武人」にいきなり遭遇！

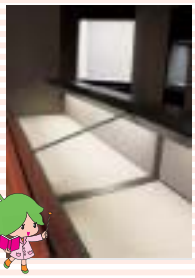
考古展示室に入ってすぐ、国宝「埴輪 挂甲の武人」に遭遇。「挂甲の武人」は抜群の知名度を誇る大スターです。リニューアル後、考古展示室では当館のスターが新設の専用ケースで皆様をお出迎えします。

◉埴輪 挂甲の武人
群馬県太田市飯塚町出土
古墳時代・6世紀

写真のケース内の埴輪はレプリカです

2 もしかして、展示ケースが見やすくなった…？

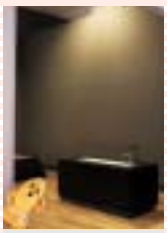
2人は、ケースがリニューアル前に比べて、より見やすくなっていることに気がつきました。ガラスには低反射フィルムを貼り、一部の照明は有機EL照明に変更し、作品にもお客様にもより良い展示環境となります。



有機EL照明は、作品への負担の少ない照明なんですって！

3 展示室 in 展示室。謎の小部屋を発見！

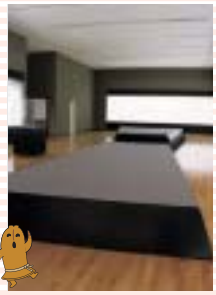
2人が見つけたのは、展示室の一角に新設された独立コーナー。ここに展示されるのは、江田船山古墳出土の国宝「銀象嵌銘大刀」と岩戸山古墳出土の重文「石人」の2件のみ。ゆっくり、たっぷり、じっくり、当館を代表する考古作品をご覧ください。



◉銀象嵌銘大刀
熊本県玉名郡和水町
江田船山古墳出土
古墳時代・5～6世紀

4 埴輪の展示がダイナミックに生まれ変わる！

考古展示室のハイライトといえば埴輪の露出展示です。リニューアルに伴い、埴輪の展示台を作り直しました。埴輪の新しい展示台は写真手前と奥の2つ。埴輪がズラリと並んだ展示台が連なる様子は、想像するだけで興奮の迫力です。



ぼくのおともだちが大集合するんだほ

調査終了！

なるほー！ いろんなことが新しくなったほ。10月14日が楽しみなんだほー！

新しくなった考古展示室にぜひ来てくださいね

東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30～17:00（入館は閉館の30分前まで）

- 12月までの特別展開催期間中の金曜日は20:00まで（ただし、9月25日（金）、10月9日（金）、16日（金）・23日（金）は除く）
- 4月～9月までの土・日曜、祝・休日は18:00まで
- 7月22日（水）～8月27日（木）の火・水・木曜日および8月10日（月）は18:00まで
- 10月2日（金）、3日（土）は22:00まで
- 10月31（土）～11月2日（月）は20:00まで

休館日:

月曜日（祝日・休日に当たる場合は開館、平日休館）

- 8月10日（月）、11月2日（月）、2016年3月28日（月）は開館
- 2015年の年末は12月23日（水・祝）まで開館、2016年は1月2日（土）から開館

＊特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金

一般＝620（520）円　大学生＝410（310）円

- （　）内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料
- 敬老の日（9月21日〈月・祝〉）は、総合文化展のみ無料

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、Twitter、メールマガジンで！
東京国立博物館ウェブサイト
http://www.tnm.jp/

東京国立博物館ニュースの定期購読

年間（6冊分）を1,000円の送料・事務費でご自宅にお届けします。パスポート・ベーシックと同時申し込みで100円割引（会員期間と同一期間の購読に限る）。

＊次号よりご送付希望の場合、締切は9月10日（木）です。

東京国立博物館友の会＆パスポート

友の会　発行日から1年間有効

年会費	10,300円

＊継続入会（パスポート・ベーシックを含む）の場合は9,800円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。特別展観覧券（12枚）の配布、そのほか本誌の定期郵送など様々な特典があります。

パスポート　発行日から1年間有効

一般	4,100円
29歳以下	3,000円
学生	2,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも、特別展は1回ずつ計6回まで観覧可能です。

ベーシック　発行日から1年間有効

一般	1,500円
29歳以下	1,100円
学生	900円

【特典】東京国立博物館の総合文化展を何度でも観覧できます。

◉お問合せ
電話03-3822-1111（代）友の会・パスポート担当
FAX03-3821-9680

▶各種お申込みは当館窓口・ウェブサイトまたは郵便振替で

［ウェブサイト］

申込フォームよりお申し込みください。クレジットカードによる電子決済をご利用いただけます。

［郵便振替でのお申込］

- 振替用紙に郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください。
- 振替用紙の半券が領収書になります。有効期間終了まで保管しておいてください。
- 振替手数料はお客様負担となります。
- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

友の会

加入者名（振替先）東京国立博物館友の会
口座番号00160-6-406616

- 振替用紙には申込区分（新規・継続）を記入し、［継続］の方は、有効期限内の会員証等のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

東京国立博物館ニュースの定期購読＆パスポート・ベーシック

加入者名（振替先）東京国立博物館パスポート＆ニュース
口座番号00140-1-668060

- パスポート・ベーシックの申し込みの場合、振替用紙に申込区分（［パスポート・ベーシック］［一般・29歳以下・学生］）を記入し、［29歳以下］・［学生］の方は、年齢のわかる身分証明証のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

＊一度納められた料金の払戻はいたしません。

＊各種イベントのお申込に際してご提供いただいた個人情報は、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

表紙：衆人奏楽図　高昌ウイグル期・10～11世紀　中国・ベゼクリク石窟第33窟　大谷探検隊将来品（詳細は本誌4ページ）、ほか

東京国立博物館2015年8月・9月の展示・催し物

2015・8

1 土	時間延長（18:00まで） 本 14:00
2 日	時間延長（18:00まで） 作「根付作り」13:30*1 考 14:30
3 月	休館日
4 火	夏休み特別時間延長（18:00まで）
5 水	夏休み特別時間延長（18:00まで）
6 木	夏休み特別時間延長（18:00まで） 東 11:00
7 金	夜間開館（20:00まで） G「国宝になった醍醐寺の虚空蔵菩薩立像」18:30 本館11室
8 土	時間延長（18:00まで） 陶 14:30
9 日	時間延長（18:00まで） 近 13:00 浮 14:00
10 月	夏休み特別時間延長（18:00まで）
11 火	夏休み特別時間延長（18:00まで）
12 水	夏休み特別時間延長（18:00まで）
13 木	夏休み特別時間延長（18:00まで） 本 14:00
14 金	夜間開館（20:00まで）
15 土	時間延長（18:00まで） 本 14:00
16 日	時間延長（18:00まで） 東 11:00 英 11:00 浮 14:00 考 14:30
17 月	休館日
18 火	夏休み特別時間延長（18:00まで） G「後水尾院と東博の十二ヶ月花鳥図巻」14:00 本館特別2室
19 水	夏休み特別時間延長（18:00まで）
20 木	夏休み特別時間延長（18:00まで） 彫 15:00
21 金	夜間開館（20:00まで）
22 土	時間延長（18:00まで） W「親子でエジプト探検 in ナイト・ミュージアム」18:00 東洋館3室・東洋館シアター 近 11:00 刀 13:30 陶 14:30
23 日	時間延長（18:00まで） 彫 11:00 浮 14:00
24 月	休館日
25 火	夏休み特別時間延長（18:00まで） G「東洋の白磁」14:00 東洋館5室
26 水	夏休み特別時間延長（18:00まで）
27 木	夏休み特別時間延長（18:00まで） 本 14:00
28 金	夜間開館（20:00まで）
29 土	時間延長（18:00まで） 講 子ども質問箱「教えて！エジプトのひみつ」13:30 平成館大講堂
30 日	時間延長（18:00まで）
31 月	休館日

「クレオパトラとエジプトの王妃展」
親と子のギャラリー「ミイラとエジプトの神々」

2015・9

1 火	G「後水尾院と住吉派のはじまり」14:00 本館特別2室 建 11:00
2 水	
3 木	東 11:00
4 金	夜間開館（20:00まで） G「能面入門」18:30 本館14室
5 土	時間延長（18:00まで） 樹 13:30 本 14:00 【王妃】講「遺跡に見る古代エジプトの女王・王妃たち：発掘調査の現場から」13:30 平成館大講堂*2
6 日	時間延長（18:00まで） 作「根付作り」13:30*3 考 14:30
7 月	休館日
8 火	
9 水	樹 13:30
10 木	庭 14:00 本 14:00
11 金	夜間開館（20:00まで） 連続講座「考古学が熱い！」13:00 平成館大講堂*3
12 土	時間延長（18:00まで） W「能の裏側体験」①10:00 ②14:00 本館地下教育普及スペース 連続講座「考古学が熱い！」13:00 平成館大講堂*3 陶 14:30
13 日	時間延長（18:00まで） 連続講座「考古学が熱い！」13:00 平成館大講堂*3 近 13:00 浮 14:00
14 月	休館日
15 火	
16 水	
17 木	本 12:00 彫 15:00
18 金	夜間開館（20:00まで）
19 土	時間延長（18:00まで） 建 11:00（手話通訳付） 樹 13:30 本 14:00
20 日	時間延長（18:00まで） 東 11:00 英 11:00 茶 12:30、14:00 浮 14:00 考 14:30
21 月・祝	総合文化展無料観覧日 時間延長（18:00まで）
22 火・休	時間延長（18:00まで）
23 水・祝	時間延長（18:00まで）
24 木	休館日
25 金	
26 土	時間延長（18:00まで） 講「江戸の写生図―可憐なる花卉図の源泉」13:30 平成館大講堂 近 11:00 刀 13:30 陶 14:30
27 日	時間延長（18:00まで） 彫 11:00 庭 14:00 浮 14:00
28 月	休館日
29 火	G「江戸初期の写生図とその背景」14:00 本館地下教育普及スペース
30 水	セブンワンダーツアー「インドから東南アジアへ、仏像の旅」11:00

「アート オブ ブルガリ 130年にわたるイタリアの美の至宝」
「博物館でアジアの旅」
（10/12まで）（11/29まで）

【王妃】＝「クレオパトラとエジプトの王妃展」関連事業、詳細は本誌2ページ　＝「博物館でアジアの旅」関連事業、詳細は本誌4ページ　＊1：事前申込制。申込は締め切りました　＊2：事前申込制。詳細は本誌前号3ページ　＊3：事前申込制。詳細は本誌前号12～13ページ

講＝月例講演会等、詳細は本誌12ページ（特別展および「博物館でアジアの旅」関連事業については、当該ページ）
G＝ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ
W＝ワークショップ、事前申込制。詳細は本誌13ページ
＝託児サービス実施日（12:30～15:30）　事前予約制　有料
作＝ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ　事前申込制
本＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所：本館1階エントランス
浮＝ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所：本館1階エントランス
陶＝ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所：本館1階エントランス
彫＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所：本館1階エントランス
樹＝ボランティアによる樹木ツアー（※8月は休止します）、集合場所：本館1階エントランス
考＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所：本館1階エントランス（本館1室をご案内します）
茶＝ボランティアによる応挙館での茶会（※8月は休止します）、集合場所：本館1階エントランス（参加費500円、先着15名、開始30分前に集合場所で整理券配布）
庭＝ボランティアによる庭園茶室ツアー（※8月は休止します）、集合場所：本館1階エントランス（先着15名、開始30分前に集合場所で整理券配布）
英＝ボランティアによる英語ガイド（日本美術の流れ）、集合場所：本館1階エントランス
建＝ボランティアによるたてもの散歩ツアー（※8月は休止します）、集合場所：本館1階エントランス
近＝ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所：本館1階エントランス
刀＝ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所：本館1階エントランス
東＝ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所：東洋館1階エントランス（木曜日は「仏像の旅」、日曜日は「東洋館ハイライト」をご案内します）
※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。

東京国立博物館ニュース　第732号　平成27年8月1日発行（隔月1回（偶数月発行））　編集／東京国立博物館 広報室　©東京国立博物館
発行／東京国立博物館　〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9　TEL 03-3822-1111（代表）＊ウェブサイト（URL）http://www.tnm.jp/　独立行政法人国立文化財機構ウェブサイト（URL）http://www.nich.go.jp　デザイン／D_CODE　制作／凸版印刷株式会社